

令和9年度職員募集案内



天皇誕生日セレブションで特産品をPRする職員(ソウル事務所)



日本の自治体PRの打ち合わせ(ロンドン事務所)



Anime NYCで日本各地のアニメスポットを紹介する様子(ニューヨーク事務所)



マルセイユ秋祭り出展の様子(パリ事務所)



現地大学生を前に英語で講演(シンガポール事務所)



泰州・バーウッド市を訪問し意見交換する職員(シドニー事務所)



旅行イベントで派遣元自治体の魅力を紹介する職員(北京事務所)

クレアは、
自治体国際化の
スペシャリストを
育成します。

地域の国際化を推進する共同組織、クレア。
ここには日々国際化に関する課題や
ニーズが持ち込まれ、その解決のために職員が精力的に働いています。
クレアでは、こうした環境に自治体職員を派遣いただき、
多様な業務を経験する機会を提供することで、
職員の能力の着実な向上を図っています。
自治体国際化を担う次代のスペシャリスト、私たちがしっかり育成します。



一般財団法人
自治体国際化協会



本部・海外事務所で 質の高い研修 を実施

クエアには2年間の本部勤務と、1年間の本部勤務後に2年間の海外事務所勤務を行う2つの派遣形態があります。本部・海外事務所のいずれにおいても、実用的な能力の開発・向上を目指した研修を提供しています。

本部研修（一例）

名称	研修内容	目標・効果
語学力向上研修	語学学校においてプライベートレッスンを実施し、国際人として業務遂行に必要な語学力の向上を図ります。	英語：TOEIC730点 仏語・中国語・韓国語：各種検定のCEFR A2相当
短期海外派遣研修	本部2年目勤務の職員に海外事務所勤務を経験する機会を提供し、実践を通じた国際業務遂行能力の向上を目指します。	国際業務遂行能力の向上
外国語プレゼンテーション研修	外国語プレゼンテーションの実践を通じ、効果的な説明の仕方や、プレゼンテーション後の質疑応答の適切な対処法を学びます。	国際業務を遂行するためのプレゼン技術の向上
国際プロトコール研修	国際業務を遂行する上で不可欠な国際儀礼（プロトコール）についての知識と理解を深めます。	国際プロトコールについての知識の習得
国際経済情勢研修	金融市場をはじめとする現代の国際経済の動向を的確に理解し、グローバルな視点から事象を俯瞰する力を養います。	国際戦略の立案に必要な基本的視座の習得
やさしい日本語研修	国際業務や外国人とのコミュニケーションに活かすことができるよう「やさしい日本語」を学びます。	共生社会実現に向けた外国人とのコミュニケーション能力の向上
国際関係概論研修	国際社会における日本の立ち位置や日本に期待される役割への理解を深めることにより、視野を広げるとともに国際的な教養を身につけます。	海外での業務遂行に必要な国際的な視野と教養の取得

海外事務所研修（一例）

名称	研修内容	目標・効果
語学研修	語学学校への通学や現地言語での調整及び現地採用職員とのやり取りを通して、業務遂行に必須な語学力を習得します。	業務遂行に欠かせない語学力の習得
物産展や博覧会への参加	物産展等への出展を希望する自治体等への各種支援等、現地業務を通じてスキルアップを図ります。	自治体支援のノウハウ等の習得
国際的シンポジウムや交流会議の開催	シンポジウム開催に当たっての調整等、現地業務を通じてスキルアップを図ります。	業務推進のためのノウハウ等の習得
各国の地方自治制度、文化や慣習の習得	現地自治体を訪問し、両国地方制度に関する意見交換等を行います。	地方自治制度、各国の特色等の習得
現地大学・国際会議でのプレゼンテーション	担当地域の大学・国際会議において、自治体の政策等について、英語によるプレゼンテーションや意見交換等を行います。（ニューヨーク事務所・シンガポール事務所・シドニー事務所）	プレゼン技術の向上、海外の現状理解
自治体への訪問・インターンシップ研修	各国の地方自治・地方行財政への理解を深めるとともに、現地調査等の実践を通じてヒューマンスキル・語学力を磨きます。（訪問研修：ニューヨーク事務所・ロンドン事務所、インターンシップ研修：パリ事務所・シドニー事務所）	各国の自治体政策等に関する理解の向上、コミュニケーションスキル等の向上

クエア本部には、外国籍職員（プログラム・コーディネーター）が在籍しています。様々な国籍の職員と共に仕事をすることで、本部勤務においても国際感覚を養うことができます。



本部勤務者の海外事務所研修



プログラム・コーディネーターとの打合せ（東京本部）



クレア勤務経験者の声

クレアでの本部勤務及び海外事務所勤務を通じて得た様々な経験は、貴重な財産となり、派遣元の自治体に復帰してからも活かされています。

国際経験を地域の未来づくりへ

中小規模の地方自治体であっても国際化の波に対応することが求められる中、職場の中だけで得られる経験・知識では限界があると感じ応募しました。ニューヨーク事務所では、日本の自治体が北米で活動する際の現地支援や、全米の行政機関が集う各種総会への出席、行政機関や姉妹都市交流の視察、JET プログラム経験者で組織する



New York 山口県人会の様子

団体との連携や、観光、ANIME などの展示会への出展業務など、多岐にわたる現場事業を通じ、国際的な視点や、現地との文化の違いを踏まえた企画立案能力などを身に付けることが出来ます。また、プライベートの時間を活用し、現地県人会の設立に携わることで、継続的な繋がりも得ることが出来ました。現在は、都市交流や国際交流に関する業務全般に従事するほか、他課が取り組む海外向けの経済系事業を支援する相談窓口を立ち上げました。令和8年5月に実施した台北市士林区との都市交流事業では、観光・商工振興も兼ねた部署横断の事業を企画・運営するなど、地方における国際化の可能性を模索していきます。

村田 直之

萩市 総合政策部 企画政策課 企画政策班 班長(課長補佐待遇)



萩市の友好交流先台北市・士林区の様子

クレア勤務時の所属

● 令和4年4月～5年3月 多文化共生課 主査 ● 令和5年4月～7年3月 ニューヨーク事務所 所長補佐

「適応力」と「多角的な思考」を育んだ海外経験

ロンドン事務所での勤務は、私自身の仕事に対する向き合い方をより前向きなものにしてくれたと感じています。日本とは言語や文化が異なる地で働くため、仕事を進める上で予定通りに進まなかったり、想定外のことが起きることもしばしばありました。しかしながら、上司や同期、そしてローカルスタッフと密に連携し、協力を得ながら、臨機応変に対応する「適応力」を身に付けることができました。



日本文化体験の紹介

また、クレアに派遣されてからは国際情勢をより身近に自分事として捉え、それが自治体にどのような影響を与えるのかなど「多角的な思考」で物事を考えるようになりました。クレア勤務での学びを生かし、国際化の推進をはじめ、あらゆる場面で自治体の発展に貢献していきたいと思います。

佐々木 夏美

福島県 生活環境部 国際課 主事



福島県ブースにてPRの様子

クレア勤務時の所属

● 令和4年4月～5年3月 企画調査課 主事 ● 令和5年4月～7年3月 ロンドン事務所 所長補佐

札幌と私を見つめ続けた3年間

パスポートの作り方を調べることから始まった海外派遣。毎日が新鮮で濃密だった3年間は、仕事だけではなく、精神的にも私を成長させてくれました。東京では海外販路開拓やインバウンド事業を支援し、多くの事例を学ぶと同時に、自分の市を外から見つめ直す機会にもなりました。パリでは、視察のアポ取り一つにも相手都市に受け入れる意義が求められる中で、事業の目的を常に問い直す姿勢が身につきました。



「スペインの地方自治」改訂に向けた行政視察の様子

現在は、札幌国際芸術祭の担当課で国際連携企画を進めています。海外派遣で得た経験は、語学以上に、異なる価値観を持つ相手との信頼関係を築く力として、現在の業務の土台となっています。そして何より、派遣中に会ったフランスの方々や全国の素敵な同僚たちとの縁が、私の大切な財産です。

永井 貴子

札幌市 文化部 国際芸術祭担当課



市が加盟するユネスコ創造都市ネットワークの年次総会の様子

クレア勤務時の所属

● 令和4年4月～5年3月 経済交流課 主事 ● 令和5年4月～7年3月 パリ事務所 所長補佐

クレア派遣で得た「出会い・気づき・そして最後は勇気」

クレア事務所には多様な経歴を持つ職員が全国から集まり、各自治体の先進事例や取組に日常的に触れられる環境があります。このような知見が集積する場での業務は、地方自治体では得難い貴重な経験となりました。また、試食を伴うイベント支援の際、その国には食事の日があることを知りました。現地での実体験から、以降は事前に相手方の文化的背景を確認する姿勢が自然と身につきました。加えて、海外での移動手段確保、体調管理、急な予定変更への対応などから、未知の環境にも柔軟に向き合う勇気が養われました。クレアで得た「全国の先進事例との出会い」「現地での気づき」、そして「勇気」は、帰国後どのような業務においても活かすことができる貴重な財産であると感じております。



フィリピン・マニラで開催された Japan Travel Fair 2025に参加

宮田 啓

白河市 産業部 観光課 主査



台湾での観光プロモーション

クレア勤務時の所属

● 令和4年4月～5年3月 経済交流課 主査 ● 令和5年4月～7年3月 シンガポール事務所 所長補佐

クレア勤務でのさまざまな経験

- 多文化共生のサポート
- 国際交流への貢献
- 海外ネットワークの構築
- 観光客誘致活動
- 日本企業の海外展開支援
- 地域のブランド化
- 異文化コミュニケーション
- 外国語での折衝
- 情報収集・分析
- 自治体の外交戦略の構築

地域の国際化に役立つ人材へ

- ① 国際業務のジェネラリストであると同時に、多文化共生、経済交流等の専門領域を持ち、**地域の国際化業務に臨機応変に対応できる高いスキルを習得**
- ② 国際化を通して、地域の活性化に寄与し、**地域ひいては、日本の国際的プレゼンスの向上、共存共栄に貢献**

成長とご縁が繋ぐ3年間

クレアでの3年間は、自分の可能性を広げる貴重な経験でした。クレア派遣前は国際関係の業務は未経験でしたが、東京本部では、国際関係業務における考え方や基礎を学び、ソウル事務所では、日韓交流おまつりや日本の食文化を体験する料理教室開催など自治体の魅力発信に努めました。文化や慣習の違いに戸惑うこともありましたが、上司や同僚に支えられ、協力し業務を行う大切さや、直接現地の方の声を肌で感じることもでき貴重な経験となりました。帰国後はこの経験を活かし、NEAR事務局の日本駐在官を担い、韓国との交流事業に携わる中で大きな強みとなっています。クレアで出会った方々とのご縁を大切に、今後も県民への国際感覚の向上と相互理解に努めていきたいと思います。



出展の様子

糸原 叶恵

島根県
環境生活部 文化国際課 主任



NEAR事務局長との面会

クレア勤務時の所属

● 令和3年4月～4年3月 交流親善課 主事 ● 令和4年4月～6年3月 ソウル事務所 所長補佐

クレアからジェットロへ —国際業務の現場で培った力と、次のステージへ

クレアへの派遣は、私のキャリア形成において大きな転機となりました。任期終了後はジェットロに出向し、県内企業の輸出支援や高度外国人材の採用・定着支援、イノベーション創出など、幅広い業務に携わっています。クレアで培った自治体の海外展開支援に関する知見や英語での実務経験は、現在の業務の基盤となっています。シドニー事務所において、日本と豪州・NZの自治体をつなぐ調整役として合意形成を図った経験、JETプログラム関連行事でのプレゼンや、現地自治体との意見交換を重ねた経験は、自身の成長に繋がったと感じます。これらの経験と国内外で築いた多様なコネクションを今後の業務に生かすとともに、二機関への出向という貴重な機会を通じて、さらなる学びを深めていきたいと考えています。



JETプログラム出発前オリエンテーションでのプレゼンの様子

辻脇 佳奈

日本貿易振興機構(ジェットロ)
和歌山貿易情報センター
係長(和歌山県から出向)



スペインの高級レストランにおいて
県内企業が商談の様子

クレア勤務時の所属

● 令和4年4月～5年3月 経済交流課 主事 ● 令和5年4月～7年3月 シドニー事務所 所長補佐

海外勤務で得た学びを県の国際化へ

クレアでの勤務の日々には、海外赴任せずには得られない貴重な経験が詰まっていました。海外機関の意思決定プロセスやプロトコルなど、日本とは大きく異なる慣行の中で実務に携わったことは、現在の海外自治体との交流事業に大いに役立っています。また、自治体職員が海外で駐在する機会は貴重ですが、異国で外国人として生活し、言語や習慣の違いに向き合った経験は、帰任後に外国人を相手に仕事をする際にも生きています。海外事務所は小さな職場ながら、経験豊富な現地スタッフや同じ境遇の他自治体職員と学び合い、支え合える環境が整っており、大変な支えとなりました。今後も、そこで培った多様な関係者との協働経験や人脈を生かし、香川県と海外をつなぐ取組を着実に進め、地域の国際化に貢献していきたいです。



JET意見交換会の集合写真

松本 拓也

香川県
総務部知事公室 国際課 主任主事



ブラジル香川県人会のイベントに参加

クレア勤務時の所属

● 令和4年4月～5年3月 調整課 主事 ● 令和5年4月～7年3月 北京事務所 所長補佐

2年間で「多文化共生」の「担い手」に!

「多文化共生」が何を意味するのかわからなかった私は、2年間で徹底的に鍛えられ、気づけば「担い手」の一人になっていました。クレアでは、自治体・地域国際化協会等の多文化共生施策についてひたすら学び、「多文化共生マネージャー」の資格も取得しました。海外研修では、シドニー事務所の支援を受け、多文化共生施策について自治体職員と意見交換をしました。多文化共生の理想だけでなく、実践現場の多大なる苦労にも触れる等、貴重な経験ができました。現在は、行政評価担当と国際担当を兼任しています。派遣で獲得した自治体を超えた視点や多文化共生関係の人脈、業務を通じて知った多文化共生に関する様々なツールや支援事業を活用し、当市と周辺地域の多文化共生を一層推進していきます。



海外研修中に訪問した
クイーンズランド州議会

本多 佳央

和光市
企画部 企画人権課 主任



派遣元帰任後に見直しに携わった
「和光市総合振興計画」

クレア勤務時の所属

● 令和6年4月～8年3月 多文化共生課 主査



自治体の 海外活動最前線 で働く

クレアの海外事務所は、自治体が海外で活動する際の後方支援を担う重要な存在です。海外事務所勤務を通じ、グローバルな視点での政策立案能力等を得得ることから、将来の幹部職員を育成するには最適な環境といえます。

各自治体からの要請に基づく海外業務の支援

主な業務内容	目標・効果
- 自治体が海外で業務を行う際の事前調整や現地での同行等のサポート - 自治体等から照会を受けた海外調査の実施及び回答 - 派遣元自治体の特定ミッションに関して、現地駐在員としての役割を担当	- 多様なニーズに応える専門的知識の習得 - さまざまな業種・地位にある相手との折衝能力の向上

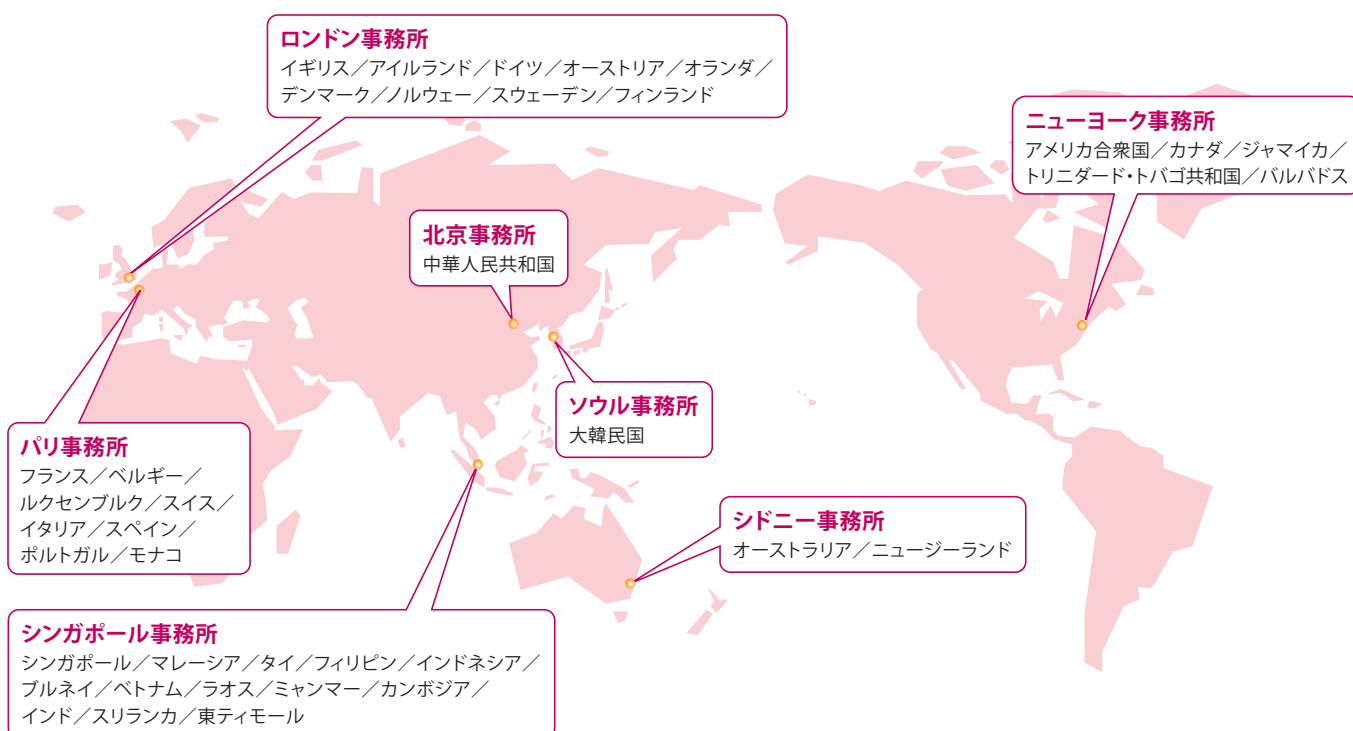
特定テーマにかかる調査研究活動

主な業務内容	目標・効果
- 諸外国における地方行財政制度、海外自治体の施策等に関する情報収集及び調査研究 - 調査・研究の成果を、「各国の地方自治シリーズ」及び「クレアレポート」として協会ホームページで公表	- 諸外国の制度との比較検討を通じて、日本の地方自治制度に関する理解・考察の深化 - 企画・情報収集・論文作成を通じ、多角的な視点に立った政策立案能力の向上

各海外事務所の事業実施

主な業務内容	目標・効果
- 各海外事務所がそれぞれの地域で企画する事業の実施（現地展示会への出展等） ニューヨーク事務所：アニメNYC ロンドン事務所：JAPAN MATSURI パリ事務所：サロン・デ・メール シンガポール事務所：アニメフェスティバル ソウル事務所：日韓交流おまつり シドニー事務所：日本祭り 北京事務所：旅行博覧会 等 - 東京本部が（又は国と共同で）企画・実施する事業の現地サイド業務	- 事業実施に係る企画・調整・運営能力の向上 - 現地自治体との相互理解の促進 - 幅広い人的ネットワークの形成

海外事務所 担当地域



募 集 要 項

◎ 職員の派遣形態

自治体からクレアに派遣される職員の派遣形態には、本部勤務と海外事務所勤務の2つのパターンがあります。

	期間及び勤務場所	派遣形態	身分	給与	海外赴任中の滞在経費	赴任旅費	出張旅費・研修費用
本部勤務者	2年間 東京本部	派遣法による派遣	派遣元の身分及びクレアの主査等	クレア負担	——	クレア負担 (クレア着任時)	クレア負担
海外事務所勤務者	1年間 東京本部 2年間 海外事務所	研修派遣	派遣元の身分及び海外事務所の所長補佐等	派遣元負担	派遣元負担 (クレアが派遣元に助成)	派遣元負担	クレア負担

◎ 勤務条件

本部勤務者

勤務時間 9:00～17:45 (休憩時間は12:00～13:00)

※時差出勤・在宅勤務制度あり

休 日 土・日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

休 暇 年次有給休暇(20日、繰越可)、夏季休暇、慶弔休暇 等

海外事務所勤務者

勤務時間 所在する地域により異なる

休 日 土・日曜日、勤務する国の祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

休 暇 年次有給休暇(20日、繰越可)、夏季休暇、慶弔休暇 等

◎ 福利厚生

健康保険、互助会等の福利厚生は派遣元からそのまま継続されます。財形貯蓄、貸付金等は所定の手続きが必要になる場合がありますので、派遣元及びクレアの担当者にお尋ねください。

◎ クレア派遣前の職務経験 等

福祉、税、農林水産、土木・建設、観光、商工 等、さまざまな職歴を持つ職員が派遣されています。

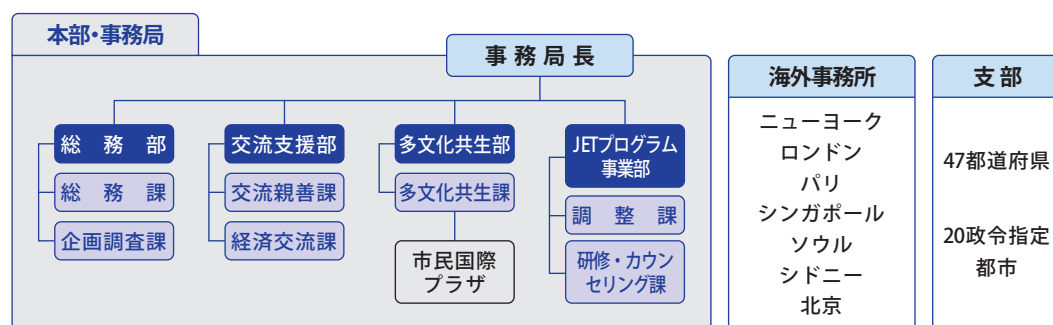
◎ 滞在経費助成金

海外事務所派遣期間中にかかる滞在経費について、派遣職員が海外に居住することに伴って増加する経費を対象に、クレアから派遣元団体に対し、1年度につき各海外事務所に応じた額を助成します。(下記限度額を上限として、対象経費の実績に応じて助成)

海外事務所	ニューヨーク	ロンドン	パリ	シンガポール	ソウル	シドニー	北京
助成限度 (1年度ごと)	495万円	504万円	387万円	423万円	324万円	324万円	342万円

CLAIR (クレア)とは

一般財団法人 自治体国際化協会 (Council of Local Authorities for International Relations) の略称です。東京に事務局・本部を構え、ニューヨーク、ロンドン、パリ、シンガポール、ソウル、シドニー、北京に海外事務所を設置しています。自治体の海外活動の支援や、諸外国の地域活性化に関する情報収集、さらには日本の地方自治制度を世界へ発信するなど、自治体と世界各国の架け橋として活動しています。



◎ お問い合わせ

総務部 総務課

TEL 03-5213-1722 FAX 03-5213-1741

E-mail somu@clair.or.jp



一般財団法人

自治体国際化協会 (CLAIR)

〒102-0083 東京都千代田区麹町1-7 相互半蔵門ビル6・7F

<https://www.clair.or.jp>



クレアの事業概要はこちら

<https://www.clair.or.jp/j/clair/docs/pamphlet.pdf>



クレアへ職員を派遣した自治体の声はこちら

<https://www.clair.or.jp/j/forum/forum/index.html>